国際ロータリー第 2620 地区　藤枝南ロータリークラブ会報　2019 年 2 月 3 日（日）No 026

Rotary
インスピレーションになろう
2018-19 年度 RI テーマ
BE THE INSPIRATION
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Bulletin
藤枝南ロータリークラブ　会報

例　会：毎週金曜日
会　場：小杉苑　藤枝市青木 2-35-30
ＴＥＬ：054-641-3321
事務局：藤枝商工会議所内　藤枝市藤枝 4-7-16
ＴＥＬ：054-646-3919　ＦＡＸ：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2018-19 年度
会長：飯田敏之　副会長：渡邊芳隆　幹事：漆畑雄一郎　副幹事：森竹正晃

例　会　第１３０６回：　節分例会/藤枝成田山

■ 会 長 報 告　　飯田敏之君

皆さん、こんには。
本日は、職業奉仕委員会の渡辺博文委員長にお願いして、鈴木照竟会員の「成田山　新護寺の節分大祭」参加を例会といたしました。
会長・年男・希望者にて　ご祈祷を受けてから豆まき行事に参加いたしました。
当日は住職はお時間がとれず　講話を頂く事は出来ませんでしたが、出席者は全員ご祈祷を受けることが出来ました。　渡辺委員長、鈴木照竟さんありがとうございました。
当日は、メンバーの普段の行いが良いせいか晴天に恵まれ、風も無く温かい一日でもありました。
今年のインフルエンザから始まりもう２月に入ります。病気になって解かった事は、経営者は病気になってはいけないという事です。長い正月休みで心身ともにだらけてしまった自分に反省しております。
今年の干支のイノシシのごとく早く走りださないといけないのですが、まずは体調を戻してからと・・・
今年度も折り返し地点が過ぎ、ここまで私自身のロータリー観で進めてまいりました。新会員の皆さんにも「私のロータリー」を見つけて頂き、今後も積極的なロータリー活動を楽しんでください。

■ 出 席 報 告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
32／50　64%	44／50　88%

（1）欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
○阿井君　○池ヶ谷君○伊藤彰君　○伊藤恒君
○稲葉君　○江崎君　○加藤君　○川口君
○小林君　○小山君　○鈴木健君　○樽井君
○内藤君　○中村君　○渕脇君　○古川君
○薮崎君　○山田君
（2）メークアップ者
佐野芳正君（藤枝）樽井勉君（藤枝）

■ 職業奉仕小委員長　　渡邊博文君

日曜日のお休みのところ、職場訪問例会にお越しいただきましてありがとうございます
本日は、職業奉仕小委員会の事業方針にもございますように、会員企業の会社に訪問し、職業奉仕を体感することを計画いたしました。
節分は、年４回あります。
立春、立夏、立秋、立冬の前日がこれにあたります。
２月３日は、豆まきも行われます。
昔から季節の変わり目には、邪気が入りやすいと考えられていました。
新しい季節が来る前に邪気を払って幸福を呼びこむために、追儺(ついな)と呼ばれる宮中行事が行われるようになりました。
この追儺は「鬼払い」「厄払い」と呼ばれ、その行事の一つの名残りとして節分の日に豆まきをする習慣が残ったのです。
「鬼」は「おに」と呼び、「陰(おん)」に由来しています。
「陰」は目に見えない邪気や悪い気を差し、目に見えない災害や病期がなどの想像を超える出来事は全て「陰」によるものとされ、「鬼の仕業」とされるようになったのです。
その結果、節分の日には鬼に豆をぶつけて退治し、幸福を呼びこもうという習慣ができたとされています
昔から大豆には、五穀のひとつとされる穀霊が宿るとされています。お米の次に神事に用いられてきた主な理由は下記にあります。

- お米より粒が大きい
- 穀霊は悪霊を祓うのに最適
- まめ＝魔滅

また「まめ」は「魔の目」も意味しており、魔の目に豆をぶつけて退治するといった意味合いも含まれているそうです。
豆めきに使用される豆は必ず炒り豆ですが、これは生の豆を使って拾い忘れてしまうと、そこから芽が出てしまって縁起が悪いとされているからです。
「炒る」は「射る」とも言われ、「魔の目を射って滅する」という意味も含まれているのです。
また、会員全員で大護摩祈祷をします。
先ほど、皆さんに、護摩木に願いを書いていただきました。
護摩壇に火を点じ、火中に供物を投じ、ついで護摩木を投じて祈願する外護摩と、自分自身を壇にみたて、仏の智慧の火で自分の心の中にある煩悩や業に火をつけ焼き払う内護摩とがある。
今年一年の、皆様の幸せと、邪気追い払い、願いが叶うことを祈念いたします。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
2/8(金) 第 1307 回	会員卓話	理事会
2/15(金) 第 1308 回	クラブ研修会	小杉苑
2/22(金) 第 1309 回	同好会報告	小杉苑
3/1(金) 第 1310 回	会員卓話	理事会

（担当／杉山君）